



「未来デザインタイム」(吉田中学校)

「にいがたの名工」(職人講師)を招いて日本料理の実演や実習を行いました。また、なりたい自分になるためにプランニングタイム(計画力・振り返り力)の充実を図っています。

なりたいたい自分を育むために
市立吉田中学校では、社会人・職業人講師を招き、「なりたい自分」を想像して将来の夢や目標、今後の進路・職業選択を考える、キャリア教育に取り組んでいます。総合学習では「未来創造学習」をテーマに、各種講話でさまざまな情報や考えにふれ、自分がどのように成長していけば良いか、計画・目標を立てて生活できるように心がけています。各中学校ではこのような学校ごとのキャリア教育が実施され、将来の夢や希望を持つ子どもの育成を

キャリア教育

進めています。これら各校の取り組みは研修会で共有しており、市全体でさらなるキャリア教育の推進につなげていきます。



「十日町観光活性化プラン」(十日町中学校)

3年生は十日町市の観光について学習し、「自然観光ツアー」、「ちんころ文化体験」、「スイーツDE映え」、「着物に親しみをもつ」などのプランを考えました。講話や調べ学習、修学旅行を通して収集した情報をもとに、それぞれ工夫を凝らしたプランをつくりあげました。



「ほうかご寺子屋塾」(十日町小学校)

元教員が指導者となって、児童一人ひとりのペースに合わせて進めていきます。これにより、集中力と学習意欲が育まれています。

未来へ羽ばたく子どもたちに
充実した教育を提供
市立十日町小学校長
松澤 ゆりかさん
当校のコミュニティ・スクールでは、6年生児童の希望者を対象に、ワークブックを用いた学習や自主学習を行う学習支援「ほうかご寺子屋塾」を行っています。元教員が指導者となって、苦手な学習内容を定着させるだけでなく、その日学習する課題を自分のペースで進めていくことができる場となっています。また、中学進学を控える6年生にとっては、自主的に学ぶ姿勢を身に付けることができます。自力解決が難しい問題は、解き方やヒントを聞くこともできるので、学びを深めら



れる充実した内容となっています。使用しているワークブックも、後援会から支援してもらっています。家庭にも負担がかからず、本当にありがたいです。当校では、ほかにも体育のスキー授業におけるコース付けや、家庭科のミシン指導など、多彩な力を地域からお借りしています。

コミュニティ・スクール

interview

子どもたちにとってより望ましい教育環境を整備しています。今後は、ICT(情報通信技術)を活用したさまざまな学びの推進、また将来の自分を想像するためのキャリア教育などで、地域一体となって活力ある学校づくりに取り組みます。

人にやさしい
まちづくり

01

教育

ふるさとを愛し

自立して社会で生きる

子どもを育てるまち



市立南中学校での「ロイロノート」を活用した英語授業
※思考を可視化したり、アイデアを共有したりするための学習支援アプリ

GIGAスクール構想

ICTを活用した
教員の指導力の向上

市立学校の全児童生徒に、1人1台のタブレット端末が配備されました。市立南中学校では、導入されたこれらの機材や環境を活用し、生徒が自分の端末から朝の健康観察や体温チェック、授業記録などを入力し、担任教員が一括管理しています。この取組で、ペーパーレス化や授業準備の効率化が進むなど、教員の負担軽減にもつながっています。また、生徒が生徒会や委員会活動の資料を端末を活用して作成するなど、生徒のアイデアや自主性も向上し、さまざまな面で効果が表れています。同校の小機雅浩教諭は、「タブレット端末は、オンライン授業など学びの機会をさらに豊かにするたくさんの方々の機能を持っているということを、子どもたちに伝えていきたいです」と話してくれました。